

令和7年度 中間支援組織を活用したスポーツ環境整備事業
秋田県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会研修会報告

- 1 テーマ 『地域とともに輝く未来を』
2 日時 令和7年5月22日（木）14時45分から16時15分
3 場所 秋田県スポーツ科学センター研修室
4 講師 Orbray 株式会社 代表取締役社長 並木 里也子 氏



- ・ニューヨーク生まれ、東京育ち
- ・青山学院大学教育学部卒業
- ・スノーボード日本代表としてワールドカップ出場
- ・2021年精密宝石部品メーカーの3代目として代表取締役社長に就任
- ・「ものづくりはひとづくり」を掲げ人材育成に注力
- ・社会貢献活動にも取り組む3児の母

5 内 容

【自己紹介：アスリートヒストリー】

- ・運動音痴なのにスノーボードを始めたきっかけ
- ・スノーボードで全日本優勝や世界を目指そうと思ったきっかけ
- ・どれだけ練習・努力したのか
- ・大変だったこと【自己管理（体調不良）、大会欠場、道具を忘れる etc…】
- ・目標設定、PDCAの仕組みを誰とどのように作ったか
- ・目標設定やアップデートする上で、大事なこと

【Life スタイルを変えるものづくり】

- ・2023年に社名を Orbray に変更
- ・世界で唯一 Orbray にしかできないものづくり
（世界初小型モーター開発）（摩耗しない究極のレコード針）
（人工ダイヤモンドのパーツ時計）（世界最大口径ダイヤ）

【Lily スタイル社長業】

- ・社長になって感じたこと
- ・不可能を可能にしていこう
- ・夢の叶え方
- ・挑戦と変革のストーリー、得意を見つける
- ・社員コミュにオケーション及びエンゲージメントの強化
- ・社員待遇改善
- ・積極的新卒採用と教育
- ・人づくり、自社で学ぶ、育成プログラム「OrbrayAcademy」開講
- ・横の繋がりをつくる：バースデー座談会
- ・子ども向け工場見学会、体験教室



【今後目指すもの】

- ・多様性（海外での活躍、女性活躍推進）
- ・ものづくりはひとづくり
- ・秋田から世界へリーディングカンパニーを目指して

【リフレーミングワーク】

- ・自分の性格特徴や短所を引き出す
- ・それをひっくり返してみよう

例：そそっかしい（ミスばかり）⇒ 行動が早い、瞬発力がある
怒りっぽい ⇒ エネルギーが高い、感情豊か
消極的 ⇒ 思慮深い、あたたかい心を持っている

【まとめ・感想】

- ・研修会は、並木氏のアスリートストーリーから始まり、社長就任してからの取り組み内容や今後の目指すことなどの話があり、その後自分に対するリフレーミングの具体例を上げ、参加者が短所と長所を捉え直すワークを実施した。
- ・この研修会は、『他業種の運営面や社員とのコミュニケーションづくり、人材育成などの取り組みなどについて知識を深め、今後のクラブ運営に役立てる』ことを目的として開催しましたが、多くの参加者から『クラブ運営のヒントをもらえた』『やる気がでた』『良い刺激をもらえた』などの感想があった。
- ・これからの総合型地域スポーツクラブは、企業をはじめ他業種との連携を積極的に行うことが必要であると感じた。

